

玉石張り施工における品質確保について

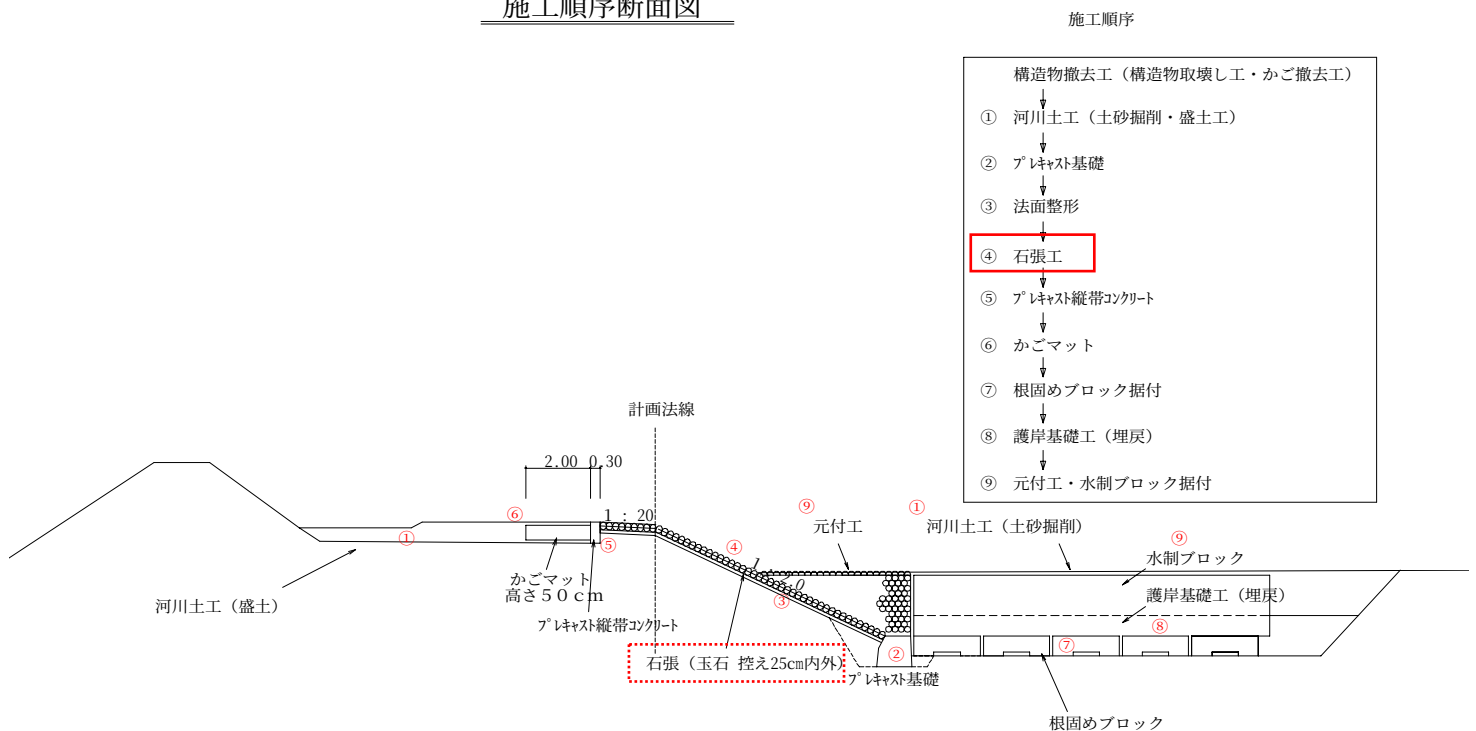
木内建設株式会社
安 田 衛
大 池 正 之

工 事 名	平成21年度 安倍川遠藤新田地区低水護岸工事
工 事 場 所	静岡市葵区遠藤新田地内
工 期	平成21年10月24日 ～ 平成22年3月30日
発 注 者	国土交通省 中部地方整備局 静岡河川事務所
工 事 概 要	低水護岸工事 工事延長 L=335.0m 河川土工 掘削工 6,000m ³ 築堤盛土工 7,270m ³ 採取土 3,200m ³ 護岸基礎工 プレキャスト基礎 335m 法覆護岸工 プレキャスト縦帯コンクリート 334m ふとんかご 667m 現場打階段工 5箇所 石張り工 2,915m ³ 根固め工 作業土工 1式 根固めブロック工 1式 (ブロック製作 N=605個、ブロック運搬・据付 N=700個) 水制工 元付工 5箇所 水制ブロック工 1式 (ブロック製作 N=220個、ブロック運搬・据付 N=220個) 構造物撤去工 構造物取り壊し工 1式 かご撤去工 1式 運搬処理工 1式 仮設工 仮締切工 1式 仮排水路工 1式

1.現場状況及び工事施工フロー

この工事は、起点側及び終点側の低水護岸が既に施工されており、未施工区間の工事延長L=335mの工事です。
施工においては、下図の施工断面図及び施工順序のフローにて施工を行いました。

施工順序断面図



2.作業所の品質目標の設定

施工に先立ち当作業所における施工上の重点管理項目を選定し品質目標の検討を行い、当作業所の品質目標を『玉石張り施工における品質確保』としました。

3.品質目標達成のための管理項目について

品質目標の『玉石張り施工における品質確保』において、管理項目を下記の通りとし実施しました。

(1) 玉石材料搬入時の使用玉石の選別。

- ① 材料搬入時において、使用不適玉石の除去(長手方向20～30cm以外玉石、割れ・欠けの大きいもの、黒色頁岩)を行う。



- ・ 玉石材料の検収(長手方向20cm～30cmの使用玉石の確認)を行いました。



- ・ 使用不適玉石材料の除去をしました。(長手方向20～30cm以外玉石、割れ・欠けの大きいもの、黒色頁岩等)

(2) 玉石の高さ・水平目地を通す。

- ① 施工前に測点及び測点+10.0mの法長より段数割り(1段当りの間隔)を決定する。



- ・ 石張り法面に法長に対しての段割りと仕上がり高さの丁張りを設置しました。

(3) 玉石張り設計数量の確保。(26個/m²)

- ① 法長と測点間距離により玉石の使用個数を計算し管理する。



・ 施工前に測点及び測点+10.0mの法長より段数割り(1段当りの間隔)を決め、1段当りの玉石使用個数を50個～54個に設定しました。

- ② 石張り施工班及び各測点間ごとの日々の施工数量を随時行い、管理表にて管理する。



設 計 N=26個/m²

実 測 N=109個/4m² 27.25個/m²

設 計 N=26個/m²

実 測 N=30個/m²

(4) 玉石の付着コンクリートの清掃の徹底。

- ① 朝礼及び作業打合せ会において、作業指示の充実を図る。

・ 玉石張り施工後、当日の施工箇所の目地施工と平行し玉石の洗浄を速やかに行いました。

4.終わりに

この工事で掲げた作業所品質目標の『玉石張り施工における品質確保』に対し、各管理項目を定めた理由の一つとして、石工及び石張り補助作業員の技量による出来ばえの違いを統一することが目的でもありました。

結果、各管理項目を実施することにより、石工の技量による出来ばえの違いの統一を図ることができ、作業所品質目標を達成することができました。



不可視部完了写真 全 景



完成写真 全 景